

## 2023年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年3月27日

上場会社名 株式会社大光

上場取引所 東

コード番号 3160 URL <https://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介

TEL 0584-89-7777

四半期報告書提出予定日 2023年4月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年5月期第3四半期の連結業績(2022年6月1日～2023年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第3四半期	47,084	17.2	438		481		263	
2022年5月期第3四半期	40,165	1.6	131		48		173	

(注) 包括利益 2023年5月期第3四半期 301百万円 ( %) 2022年5月期第3四半期 143百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第3四半期	19.90	
2022年5月期第3四半期	13.07	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年5月期第3四半期	17,826	4,430	24.9	334.34
2022年5月期	17,918	4,247	23.7	320.56

(参考) 自己資本 2023年5月期第3四半期 4,430百万円 2022年5月期 4,247百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期		4.50		4.50	9.00
2023年5月期		4.50			
2023年5月期(予想)				4.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年6月1日～2023年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,500	14.0	610	342.1	660	183.3	375		28.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 有  
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)及び(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年5月期3Q	13,450,800 株	2022年5月期	13,450,800 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年5月期3Q	200,012 株	2022年5月期	200,012 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年5月期3Q	13,250,788 株	2022年5月期3Q	13,250,788 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(会計上の見積りの変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで経済社会活動の正常化が進み、個人消費の持ち直しをはじめ景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、急激な円安の進行、ロシア・ウクライナ情勢に起因する世界的な資源・原材料価格の高騰など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、行動制限や営業制限が解除されたことにより回復傾向にあるものの、資源・原材料価格の高騰による仕入価格や物流費等の上昇、物価上昇による消費者の選別志向や節約志向の高まりなどから、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループはお客様や従業員の安全を第一に感染症対策を徹底するとともに、食を支える企業として安心・安全な商品提供に努めております。業務用食品等の卸売事業である「外商事業」においては、既存得意先との深耕を図るとともに、多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」においては、新規店舗を開業するとともに、品揃えの充実化や営業活動の強化など、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行ってまいりました。

さらに、水産品の卸売事業である「水産品事業」では、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、既存得意先との深耕を図るとともに、新規得意先の開拓など販路の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は470億84百万円（前年同期比17.2%増）、営業利益は4億38百万円（前年同期は営業損失1億31百万円）、経常利益は4億81百万円（前年同期は経常損失48百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億63百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億73百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (外商事業)

当事業におきましては、既存得意先との深耕を図るとともに、給食、病院、中食など幅広い業態への新規開拓に注力してまいりました。また、提案型営業を強化するため商品知識の向上に取り組むほか、業務の効率化による人件費の削減や物流費をはじめとした経費の抑制に取り組み、収益性の向上を図ってまいりました。

この結果、外商事業の売上高は292億64百万円（前年同期比22.6%増）、営業損失は17百万円（前年同期は営業損失4億31百万円）となりました。

#### (アマカ事業)

当事業におきましては、各店舗において、メーカーフェア等の販売施策の展開や、SNSを活用した販促活動の強化、家庭内消費に適したアイテム拡充など、外食事業者から一般消費者まで幅広いお客様にご利用しやすい店舗運営に努めてまいりました。新規出店については、2022年7月に四日市店（三重県四日市市）を移転オープンいたしました。

この結果、アマカ事業の売上高は158億3百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益は11億24百万円（前年同期比21.1%増）となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として48店舗であります。

#### (水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、大手水産会社をはじめとする既存得意先との深耕を図るとともに、輸出版売の推進や新規開拓の強化に努めてまいりました。また、採算管理の徹底や経費抑制に取り組み収益性の向上を図るとともに、外商事業及びアマカ事業と連携し当社グループの水産品ラインナップ強化を推進してまいりました。

この結果、水産品事業の売上高は21億18百万円（前年同期比18.8%増）、営業利益は66百万円（前年同期比21.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して現金及び預金が80百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が1億92百万円減少したこと等により、流動資産は全体で67百万円減少しました。一方固定資産は、建物及び構築物が71百万円減少したこと等により、全体で23百万円減少しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して91百万円減少し、178億26百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して支払手形及び買掛金が2億74百万円、短期借入金が2億49百万円減少したこと等により、流動負債が全体で4億11百万円減少しました。一方固定負債は、長期借入金が22百万円増加したこと等により、全体で1億37百万円増加しました。その結果、負債総額は、前連結会計年度末と比較して2億73百万円減少し、133億96百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が1億44百万円増加したこと等により、1億82百万円増加し、44億30百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月期の連結業績予想につきましては、2023年2月28日に公表しました業績予想に修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	282,763	362,886
受取手形及び売掛金	5,012,376	4,820,301
有価証券	50,175	147,292
商品	4,266,682	4,380,660
貯蔵品	65,218	76,241
その他	1,114,006	938,243
貸倒引当金	△1,980	△3,836
流動資産合計	10,789,241	10,721,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,249,171	3,177,486
その他（純額）	1,128,003	1,223,496
有形固定資産合計	4,377,175	4,400,983
無形固定資産	23,188	19,400
投資その他の資産		
投資有価証券	878,140	890,410
その他	1,863,047	1,806,569
貸倒引当金	△12,733	△12,356
投資その他の資産合計	2,728,453	2,684,623
固定資産合計	7,128,817	7,105,007
資産合計	17,918,058	17,826,796

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,890,374	5,616,295
短期借入金	1,839,500	1,590,000
1年内返済予定の長期借入金	900,240	1,186,014
未払法人税等	119,193	72,652
賞与引当金	225,970	114,818
ポイント引当金	25,354	24,656
その他	1,090,626	1,074,919
流動負債合計	10,091,259	9,679,355
固定負債		
長期借入金	1,950,006	1,972,385
役員退職慰労引当金	298,591	301,143
退職給付に係る負債	428,385	438,331
資産除去債務	484,957	506,424
その他	417,248	498,850
固定負債合計	3,579,189	3,717,134
負債合計	13,670,448	13,396,489
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,076,372	1,076,372
資本剰余金	980,171	980,171
利益剰余金	2,167,322	2,311,733
自己株式	△33,904	△33,904
株主資本合計	4,189,962	4,334,373
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,721	89,957
繰延ヘッジ損益	△20,372	0
退職給付に係る調整累計額	8,299	5,975
その他の包括利益累計額合計	57,647	95,933
純資産合計	4,247,610	4,430,307
負債純資産合計	17,918,058	17,826,796

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
売上高	40,165,512	47,084,326
売上原価	32,322,438	38,025,216
売上総利益	7,843,073	9,059,109
販売費及び一般管理費	7,974,870	8,620,486
営業利益又は営業損失(△)	△131,796	438,622
営業外収益		
受取利息	8,694	8,751
受取配当金	7,378	7,074
受取賃貸料	67,230	70,337
受取手数料	15,401	16,270
助成金収入	50,601	566
その他	9,537	19,413
営業外収益合計	158,843	122,414
営業外費用		
支払利息	15,357	15,145
賃貸費用	51,934	51,824
固定資産除売却損	1,873	5,276
その他	5,998	7,361
営業外費用合計	75,163	79,609
経常利益又は経常損失(△)	△48,116	481,427
特別利益		
国庫補助金	—	29,260
特別利益合計	—	29,260
特別損失		
減損損失	56,075	—
投資有価証券売却損	3,233	—
投資有価証券評価損	71,016	19,796
損害賠償金	—	35,000
固定資産圧縮損	—	29,260
特別損失合計	130,325	84,056
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△178,441	426,631
法人税、住民税及び事業税	39,465	104,793
法人税等調整額	△44,718	58,169
法人税等合計	△5,252	162,963
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△173,188	263,667
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△173,188	263,667

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△173,188	263,667
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,778	20,236
繰延ヘッジ損益	△1,849	20,372
退職給付に係る調整額	△1,877	△2,323
その他の包括利益合計	30,051	38,286
四半期包括利益	△143,137	301,954
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△143,137	301,954
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

第1四半期連結会計期間において、不動産賃貸契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、退店等の新たな情報の入手に伴い、店舗の退店時に必要とされる原状回復費用に関して、見積りの変更を行いました。

この見積りの変更による増加額12,085千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年6月1日 至2022年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	23,868,465	14,568,464	1,718,001	40,154,931	10,580	—	40,165,512
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,962	13,144	65,470	80,578	—	△80,578	—
計	23,870,428	14,581,609	1,783,472	40,235,509	10,580	△80,578	40,165,512
セグメント利益又は損失(△)	△431,334	928,874	85,043	582,583	3,150	△717,530	△131,796

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△717,530千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

外商事業セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において6,556千円であります。

アミカ事業セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において49,518千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年6月1日 至2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	29,263,596	15,788,845	2,020,466	47,072,908	11,417	—	47,084,326
セグメント間の内部売上高又は振替高	648	14,446	98,076	113,171	—	△113,171	—
計	29,264,245	15,803,292	2,118,542	47,186,080	11,417	△113,171	47,084,326
セグメント利益又は損失(△)	△17,371	1,124,448	66,806	1,173,883	4,911	△740,172	438,622

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△740,172千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。